

### 3. 歴史文化を活かしたまちづくりの考え方

#### 3-1. 歴史文化を活かしたまちづくりの目標

加西市のこれまでの歴史文化を振り返ると、石棺を転用した石棺仏に代表されるように、先人たちは、受け継がれてきた歴史文化遺産を活かして各時代の歴史文化を育み、その積み重ねが現在に受け継がれている。加西市民に受け継がれる歴史文化遺産を守りながら、巧みに使いこなすDNAのもと、市域に受け継がれてきたさまざまな歴史文化遺産をその価値を損なうことなく活かし、いかにより一層魅力的なものとして育み、次の世代に伝えていくかが、現代を生きる加西市民に求められている。

そこで、次の目標を共有し、さまざまな主体が連携して、歴史文化を活かしたまちづくりに取り組んでいくこととする。

##### 【目標】

- ◆ 加西らしい歴史文化を活かして、豊かな生活環境をつくり、地域活力を向上する
- ◆ 加西に受け継がれてきた歴史文化に磨きをかけて、次の世代に受け渡す
- ◆ 加西の歴史文化を大切に守り、活かす「加西人」を育てる

#### 3-2. 歴史文化を活かしたまちづくりの方針

加西市には数多くの歴史文化遺産が受け継がれるなかで、目標を実現するためには、市民を中心となって保存・活用に取り組んでいくことが求められる。

しかし、少子高齢化や人口減少が進む中で、義務感に基づく保存だけでは、市民にとって大きな負担になりかねない。従って、楽しみながら歴史文化遺産を発見し、学び、活かし、その結果が歴史文化遺産を守ることにつながるという流れを創り出していくことが重要となる。

そこで、目標を実現化するために、歴史文化を活かしたまちづくりに関わる全ての主体が共有すべき基本的な方針を「楽しみながら、活かす」とし、次の2つの方針に基づく取り組みを両輪で展開していく。(図3-1 参照)

##### 【方針】～楽しみながら、活かす～

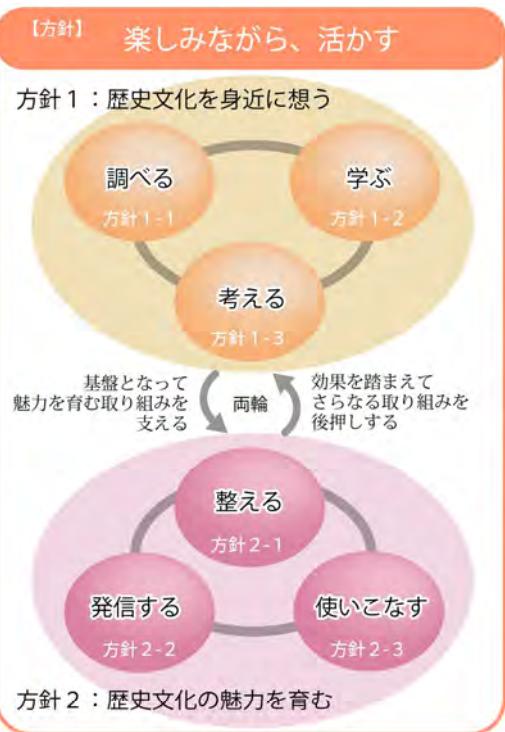
###### 方針1：歴史文化を身近に想う

「調べる」「学ぶ」「考える」

###### 方針2：歴史文化の魅力を育む

「整える」「発信する」「使いこなす\*」

\* 歴史文化遺産を守りながらもさまざまな方法で活かし、その中で、各時代の魅力を付け加え、磨きをかけてきた加西人らしさを表現するためには「使いこなす」という言葉を用いる。



【目標】  
豊かな生活環境をつくり、地域活力を向上する  
歴史文化に磨きをかけて、次の世代に受け渡す  
歴史文化を大切に守り、活かす「加西人」を育てる

図3-1 目標と方針の関係

## 方針1 歴史文化を身边に想う

加西市の歴史文化がもつ価値や魅力を再認識し、地域の「宝もの」として、市民を中心に、さまざまな主体が連携・協力して保存・活用に取り組むための基盤を形成する。

1

### 調べる

加西市の歴史文化や歴史文化遺産についての継続的な調査を進め、歴史文化遺産の把握および保存・活用の取り組みを後押しする、新たな価値や魅力の発見に努める。



遺跡の発掘調査（マンジュウ古墳）



～播磨国風土記の里を歩こう～  
加西ツーデーマーチ

表3-1 主体ごとの「調べる」取り組みの方向性 \*

|     |  |
|-----|--|
| 市民  | <ul style="list-style-type: none"><li>各地域のまちづくりの活動を行う組織や団体等は、それぞれの地域やテーマを対象とした調査を実施する。</li><li>行政や専門家が中心となって実施する調査にあたっては、情報提供や調査への参加など、積極的に協力する。</li></ul>   |
| 行政  | <ul style="list-style-type: none"><li>これまでの調査成果や加西市の歴史文化の特徴等、また、日々進歩する最新技術の活用の検討などを踏まえ、より効果的かつ多角的な調査を推進するための調査計画を作成するとともに、専門家や市民と連携した調査体制の整備を進める。</li><li>学校教育や生涯学習等との連携を通じて、さまざまな目線からの歴史文化遺産の掘り起こしを進める。</li><li>イベントとの連携などを通じて、調査自体を歴史文化と触れ合える場として楽しみを創出し、意識啓発等に活かす。</li><li>歴史文化遺産の調査成果をもとに、加西市の歴史文化遺産のデータベース化を進めるとともに、公開して市民や専門家等によるさらなる調査の進展を促す。</li><li>市民や専門家による調査を、人材面、資金面、主体間の連携・調整面など、多角的に支援する。</li></ul> |
| 専門家 | <ul style="list-style-type: none"><li>行政や市民等による調査にあたって、調査テーマや内容、方法などについて、専門的見地から助言・指導を行う。</li><li>加西市を対象として、最新の知見や技術等を用いながら、専門とする分野の調査・研究に取り組み、加西の歴史文化研究を先導する。</li></ul>   |

\* 「市民」「行政」「専門家」は、それぞれ次の主体を含むものとする。(以下、同様)

- ・市民：市民、地域の活動団体、町・区やふるさと創造会議等
- ・行政：加西市
- ・専門家：大学などの研究機関、ヘリテージマネージャー等

## 学ぶ

一人ひとりが、加西市の歴史文化の担い手であることを認識し、加西市や地域の歴史文化に関心をもち、自ら進んで学び、知識を深め、加西市や地域に対する誇りと愛着を育む。



加西市・神戸大学共同研究  
「歴史遺産活用シンポジウム」



北条小学校歴史ガイド隊

表 3-2 主体ごとの「学ぶ」取り組みの方向性

|     |  |
|-----|--|
| 市民  | <ul style="list-style-type: none"> <li>行政や活動団体等が主催するイベントや地域の祭り・行事等に積極的に参加するとともに、自らも進んで図書館や資料館等の施設やインターネット等を活用して、加西市や地域の歴史文化に関する情報を集め、学ぶ。</li> <li>さまざまな人との交流を通じて、地域の歴史文化の魅力を再認識する。</li> <li>町・区やふるさと創造会議などを単位としながら、子ども達に地域の歴史文化を伝える取り組みを進めるなど、地域が一丸となって担い手を育てる。</li> </ul>   |
| 行政  | <ul style="list-style-type: none"> <li>シンポジウムや市民講座、歴史ウォークなどを継続的に開催し、市民等が加西市や地域の歴史文化を楽しみながら知り・学び、情報交換できる機会を増やす。</li> <li>歴史的建造物や遺跡などの現地見学や生業・産業などの体験、歴史資料や考古資料の学校への貸し出しなどを通じ、本物に触れながら学ぶカリキュラムづくりを進めるなど、学校教育における「地域の歴史文化学習」の充実を図る。</li> <li>歴史文化の概要や価値・魅力を整理して、さまざまな媒体を通じて発信し、市民をはじめとした多くの人々が、加西市の歴史文化について気軽に知り・学べる環境を整える。</li> <li>歴史的建造物の保存技術者や伝統文化の継承者、歴史文化の価値や魅力を的確に伝えられる観光ガイドなど、関係団体や地域組織等による次代の歴史文化の担い手となる人材育成をより一層支援する。</li> <li>地域の歴史文化に精通した「(仮称) 加西市民学芸員」を養成するなど、歴史文化を活かしたまちづくりのリーダー的な人材を育成する。</li> </ul> |
| 専門家 | <ul style="list-style-type: none"> <li>専門以外の分野との交流・学びを通じて、新たな価値の発見や加西市の歴史文化の総合的な魅力づくりにつなげる。</li> <li>シンポジウムや市民講座、町歩き、担い手の育成の事業などでの講師やコーディネーター等を務め、行政や市民団体等による取り組みを技術的に支援するとともに、市民等が歴史文化に親しみをもち、楽しみを感じられる解説に努める。</li> </ul>   |

## 考える

歴史文化をまちづくりに活かしながら守り、育み、より豊かな生活環境づくりや地域活力の向上につなげるための方法を検討する。



地域住民によるワークショップ  
(北条旧市街地ビジョンより)



九会地区ふるさと創造会議の円卓会議

表 3-3 主体ごとの「考える」取り組みの方向性

|     |   |
|-----|---|
| 市民  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民一人ひとりが、日常的に身近な歴史文化遺産に目を配り、ご近所さんとの話題にあげるなど、歴史文化遺産について考える機会を増やす。</li> <li>・町・区の組織やふるさと創造会議などのまちづくりに取り組む組織・団体が中心になって、歴史文化遺産の保存や活用についての検討を先導する。</li> <li>・災害時における対応の方法などを検討し、歴史文化遺産の防災体制を強化する。</li> </ul>   |
| 行政  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史文化遺産の保存・活用のための相談窓口を設置するなど、市民等が困った時に気軽に相談できる体制を整える。</li> <li>・学校教育における地域の歴史文化学習カリキュラムを通じて、児童に加え、親・祖父母世代も含めて、身近な歴史文化遺産の保存・活用について考える機会を増やす。</li> <li>・専門家の派遣や活動助成などを通じて、地域主体での計画づくりや体制づくりなどの取り組みに対する支援を充実する。</li> <li>・歴史文化遺産を活かしたまちづくりに関わるさまざまな主体が集い、話し合える場を設置する。</li> <li>・他都市における先進的な事例の収集や調査・研究を進め、加西市における適用・応用の可能性を検討する。</li> <li>・加西市全体としての歴史文化を活かしたまちづくりの推進に向けて、関連部局との連携・調整のもとに、法制度や国・県の補助事業等の積極的な活用を検討する。</li> <li>・ホームページや無料公衆無線 LAN (Wi-Fi) のアクセステータ等のビッグデータを用いた歴史文化遺産のより効果的な観光活用方策の検討など、最新技術を積極的に活用して歴史文化を活かしたまちづくりのあり方の検討を行う。</li> </ul> |
| 専門家 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民からの相談への対応に協力し、歴史文化遺産の価値の評価や保全・維持・管理措置等に対する助言・指導等を行い、市民等の活動を適切な方向へと誘導する。</li> <li>・市が実施する歴史文化を活かしたまちづくりについて、各分野の専門的見地から助言・指導等を行い、適切な方向へと誘導する。</li> </ul>   |

## 方針2 歴史文化の魅力を育む

個々の歴史文化遺産ならびにそれらが相互に関係し合ってつくり出される魅力を高め、地域内外に発信し、定住促進、観光振興、産業振興などにつなげる。

### ① 整える

歴史文化遺産を活用するために必要な環境を整えるとともに、周辺の景観の保全・形成などに取り組み、歴史文化遺産がもつ魅力のより一層の向上を図る。



地域で大切にされているお地蔵さん



史跡の整備（玉丘史跡公園）

表3-4 主体ごとの「整える」取り組みの方向性

|     |  |
|-----|--|
| 市民  | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 身近な歴史文化遺産の日常的な目配りや維持管理を通じて、危険箇所等の課題を早期に発見して対処するなど、市民一人ひとりができるところから自主的に取り組む。</li><li>・ 敷地内や敷地周りの日常的な清掃や草刈りなどの身近な景観づくりに取り組むとともに、建物の建て替えや工作物の設置などにあたっては、周辺の景観や歴史文化遺産との調和に配慮する。</li></ul>  |
| 行政  | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 指定等文化財については、保存・整備事業を適切かつ計画的に実施する。</li><li>・ 文化財の新たな指定等や国・県による文化財指定等を検討する。</li><li>・ 歴史文化遺産の整備は、学校教育における児童の利用をはじめ、障がい者や外国人観光客の利用など、幅広い層の利用を想定して実施する。</li><li>・ 指定等を受けていない歴史文化遺産の保存・活用に向けて、景観条例（県）に基づく景観形成重要建造物等や環境の保全と創造に関する条例（県）に基づく郷土記念物の指定などの関連する法制度の積極的な活用を推進するとともに、加西市独自の「（仮称）加西市民遺産」の登録制度の創設を検討する。</li><li>・ 歴史文化遺産相互の関係を踏まえ、北条鉄道や路線バス、コミュニティバス、自転車道の整備などの交通ネットワークを検討し、効果的に歴史文化遺産を巡ることができる環境を整える。</li><li>・ 景観や土地利用等に関する法や条例等による規制・誘導方策と連携を図りながら、歴史文化遺産の周辺景観や歴史文化遺産をつなぐ道筋の景観についての保全・形成を重点的に進める。</li></ul> |
| 専門家 | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 歴史文化遺産の価値を損なわないよう、保存・整備の方法等について助言・指導等を行う。</li></ul>  |

## ② 発信する

加西市の歴史文化に関する多様な情報を、さまざまなツールを通じて地域内外に広く発信し、歴史文化を活かしたまちづくりの機運の向上並びに移住者や観光客の増加等につなげる。



パンフレットの作成  
(「播磨国風土記ゆかりの地マップ」)



案内板・解説板の設置

表3-5 主体ごとの「発信する」取り組みの方向性

|     |  |
|-----|--|
| 市民  | <ul style="list-style-type: none"> <li>SNSなどを使って、市民自らが加西市や地域の歴史文化の魅力を、全国・全世界に向けて発信する。</li> <li>活動団体や各地区のまちづくりに取り組む組織・団体が中心となって、ホームページや会報等を通じて、地域の歴史文化の魅力を地域内外に発信する。</li> <li>観光客が地域の歴史文化を巡り、触れあえるよう、地域の歴史文化遺産の掘り起こし等の調査結果をもとに、地域ごとのガイドマップ等を作成する。</li> </ul>  |
| 行政  | <ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページや広報、パンフレットなどによる加西市の歴史文化情報の発信を継続・拡充していくとともに、新たな情報発信方法を継続的に検討し、積極的に活用する。</li> <li>歴史文化情報の発信にあたっては、観光情報や駐車場・便益施設等の情報との併記や多言語表示への対応など、多くの人々の来訪を促すための工夫を行う。</li> <li>歴史文化遺産相互の関係がつくる歴史文化ストーリーや歴史文化遺産の価値をより多くの人々に分かりやすく伝えるために、案内板・解説板（多言語表示）の設置を進める。</li> <li>活動団体等の取り組みに対する顕彰制度の創設・表彰や、取り組み事例集の作成・発信などにより、取り組みのさらなる向上・発展を促す。</li> <li>子どもたちが、自分たちの地域の歴史文化の魅力を知り、誇りに思い、その良さを発信していくため、学校教育と連携しながら、「子ども観光大使」の認定などの取り組みを進める。</li> <li>出身者や来訪者等を取り込み、加西市の歴史文化の魅力を積極的に発信してもらう仕組みづくりを検討する。</li> </ul> |
| 専門家 | <ul style="list-style-type: none"> <li>加西市の歴史文化に係る新たな価値や地域の良好な取り組み事例などを学会等で報告するなど、学術的・専門的な見地からの魅力を全国に向けて発信するとともに、シンポジウムや講演会などを通じて、地域住民の意識啓発を支援する。</li> </ul>   |

### ③ 使いこなす

歴史文化遺産相互のつながりや関係するさまざまな主体・地域のつながりを創出し、良好な生活環境づくりや観光振興や産業振興などの地域活力の向上に向けた活用の効果を最大限に発揮する。



鎌倉山ハイキングコース



新たな歴史文化の育成（加西能）

表3-6 主体ごとの「使いこなす」取り組みの方向性

|     |   |
|-----|---|
| 市民  | <ul style="list-style-type: none"> <li>町・区の組織やふるさと創造会議などの各地区のまちづくりに取り組む組織・団体が中心になって、重点的に取り組む歴史文化遺産や各地区の「関連文化財群」を検討し、歴史文化遺産をまちづくりに効果的に活かす。</li> <li>歴史文化に係るイベントの開催、地域の祭りへの出身者・来訪者の参加促進など、歴史文化を介して人と人とのつながりを育み、豊かな生活環境づくりを進める。</li> <li>観光ボランティアガイドや活動団体への参加を通じて、積極的に歴史文化を使う。</li> </ul>  |
| 行政  | <ul style="list-style-type: none"> <li>歴史文化遺産相互の関係をもとに「関連文化財群」を設定・周知し、それらのまとまりを手掛かりに歴史文化を活かしたまちづくりをより効果的に推進する。</li> <li>歴史文化に係る活動への支援や活動団体相互の交流・連携の促進、さまざまなイベントの開催・支援などを通じて、活用の取り組みのより一層の充実・展開を図る。</li> <li>多様な観光ニーズに対応した歴史文化観光メニューなどによる歴史観光ガイドなどの加西ならではの魅力的な観光メニューの充実などを通じて、何度も訪れるたいと思える加西の歴史文化観光の魅力づくりを進める。</li> <li>府内関係部局、国や県、近隣市町等との連携体制を整備し、多様な制度・事業の活用や関連施策との連携を通じて、観光や産業、教育をはじめとした、まちづくりのさまざまな側面に対して、歴史文化遺産を効果的に活かす。</li> <li>空き家バンク制度等と連携しながら、古民家等の歴史的建造物の活用を推進する。</li> <li>博物館・図書館・資料館等の連携体制を整えて歴史資料等を効果的に公開し、学校教育や郷土学習、観光資源として活用するとともに、歴史文化に関する学術研究の推進に役立てる。</li> <li>VR（仮想現実）・AR（拡張現実）や高機能端末などの最新の技術を積極的に活用して、加西市の歴史文化をより分かりやすく、魅力的に感じられる環境づくりを進める。</li> <li>加西能や石彫りなど、加西市の歴史文化を発展させた新たな歴史文化の育成や、加西市の歴史文化を活かした新たな商品開発等の地域ブランドづくりを支援する。</li> </ul> |
| 専門家 | <ul style="list-style-type: none"> <li>加西市の歴史文化を教育や研究の場・対象として積極的に活用する。</li> <li>市内の歴史文化遺産や市域を越えたより広域的な歴史文化遺産の相互関係の整理等を通じて、「関連文化財群」の価値づけや魅力づくりを支援する。</li> </ul>  |

